

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		下水道汚水施設維持管理事業（ポンプ場）			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	下水道課
	業務分野	60	排水の浄化		所属班	下水道班
課長名						坂田 寛之
担当者名						加藤 大蔵、上山 辰石、久川 輝
内線						5283
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	企業					下水道法、地方公営企業法 水質汚濁防止法、合志市下水道条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 28 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ～ 年度）	

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	流域関連公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業として整備した汚水中継ポンプ場6箇所（大池、小池、筒井、村廻、すずかけ台、杉並台）及びマンホールポンプ場60箇所（流開公共：22箇所、特環公共：33箇所、農排：5箇所）を適切に運転及び維持管理する事業である。運転及び水質検査並びに施設の維持管理は、専門業者に委託しているが、委託した維持管理状況の確認、指示、指導及び法定検査への対応などを市で行っている。発電設備のある施設への燃料調達、機器の故障や不具合に対する対応はその都度、修理等の発注を行っている。供用開始から20年以上を経過する老朽化した設備が増えており、故障による補修や更新が必要となる箇所が増える傾向にある。
【業務の流れ】	【故障等への対応】①故障報告受付、②現地調査（緊急であるかの判断）及び改善策の検討・決定、③修繕工事契約事務、④現場打合せ、⑤竣工検査事務、⑥支払事務 【施設の維持管理委託への対応】①現況確認、②維持管理業務設計・積算事務、③維持管理業務契約事務、④月ごとの維持管理報告の確認と検査、⑤月ごとの支払事務、⑥その他運転管理業務の確認及び指示・指導 【その他】月ごとの水道料金、電気料金の支払い事務、消耗品の発注、燃料の適宜調達事務、法令検査等対応事務
【主な予算費目】	光熱水費、動力費、修繕費、通信運搬費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、保険料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプ施設の運転管理・保守点検（専門業者委託）を行った。設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行った。維持に必要な、水光熱費や動力費の支払いを行った。

②7年度計画（次年度に計画している主な内容）

汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプ施設の運転管理・保守点検（専門業者委託）  
設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行う。  
維持に必要な、水光熱費や動力費の支払い。

③予算の主な増減の理由

労務単価の増に伴う委託料の増

成果指標

(単位)

データ取得方法

⇒イ、不具合やトラブルへの対応率

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	57,139	59,186	68,700	77,084	73,535	65,000	65,000
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	57,139	59,186	68,700	77,084	73,535	65,000	65,000	65,000

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

緊急を要する修繕等、急な故障にも適切に対応でき、施設の機能が保持され、支障無く稼働できた。電気や機械など、特殊な設備が多く、不具合箇所の早期発見及び計画的な更新を行うため、専門業者による保守点検にも取り組む必要がある。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）